

Nexus の場合

(1) ターゲット上に用意する JTAG コネクタ

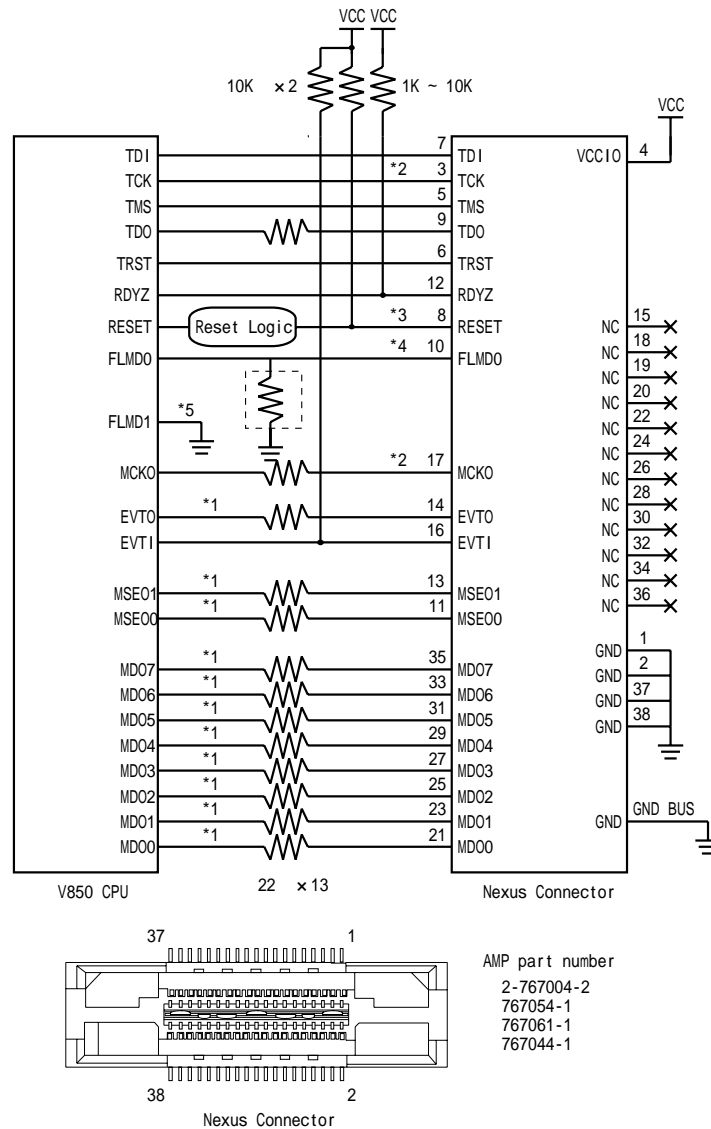


図 2-8 Nexus の推奨回路

- 注 1. パターン長はできるだけ短くしてください。GND BUS、は必ず基板の GND に接続してください。
- 注 2. TCK/MCKO 信号のクロックパターン長はできるだけ短くして、GND で囲んでシールドしてください。
- 注 3. トレース信号(*1)はできるだけ短くして、配線長をそろえてください。また、ほかの信号からのストロークに特に注意してください。
- 注 4. *3 リセットロジックはオープン・ドレインのバッファによるものを想定した回路接続です。PARTNER-Jet は 47K でプルダウンされています。「付録 B 外部インタフェース」参照して下さい。

注 5. *4 FLMD0 は、CPU に該当信号がない場合は、未接続にしてください。プルダウンする場合の抵抗値はデバイスのデータシートを参照してください

注 6. *5 兼用機能を利用する場合、リセット解除時に High レベルにならないようにしてください。

(2) JTAG コネクタピン配列

AMP 製 Mictor connector 2-767004-2/767054-1/767061-1/767044-1

AMP 製 Mictor connector 5767054-1/5767061-1/5767044-1

表 2-3 JTAG コネクタピン配列

PIN 番号	信号名	PIN 番号	信号名
1	GND	2	GND
3	TCK	4	VCCIO
5	TMS	6	_TRST
7	TDI	8	RESET
9	TDO	10	FLMD0
11	MSEO0	12	RDYZ
13	MSEO1	14	EVTO
15	未接続 (NC)	16	EVTI
17	MCKO	18	未接続 (NC)
19	未接続 (NC)	20	未接続 (NC)
21	MDO0	22	未接続 (NC)
23	MDO1	24	未接続 (NC)
25	MDO2	26	未接続 (NC)
27	MDO3	28	未接続 (NC)
29	MDO4	30	未接続 (NC)
31	MDO5	32	未接続 (NC)
33	MDO6	34	未接続 (NC)
35	MDO7	36	未接続 (NC)
37	GND	38	GND